

専門・認定看護師会では、専門・認定看護師の活動報告や各領域の専門知識を担当：感染症看護専門看護師
をワンポイントアドバイスでお知らせするため、ニュースレターを発刊して
八木 沙織
います。

いわゆる『夏風邪』流行の季節になりました！

『夏風邪』とは、夏場にかかるウイルス感染症の総称です。夏風邪を引き起こす原因ウイルスは、感染力が強い傾向があります。夏風邪のウイルスは高温多湿の環境を好み、5・6月頃から増え始め、7月に夏風邪の流行ピークを迎えます。近年では、大人の発症例が増えています。特に子どもと接する機会の多い方や、高齢者は注意が必要です。

夏の3大感染症

手足口病

<特徴>

エンテロウイルスなどに感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足の甲等に2～3mmの水疱を伴う複数の発しんが出ます。発熱は、38度以下のことが多く、ほとんどの発病者は、3～7日のうちに治る病気です。

<感染経路>

接触感染、飛沫感染、糞口感染

<予防と対策>

- ・流水と石けんによる手洗い
- ・タオルなどの共有を避ける
- ・適切な排泄物処理

ヘルパンギーナ

<特徴>

コクサッキーウイルスA群などに感染してから2～4日後に、突然の発熱に続いて、咽頭痛と水疱が現れます。発熱は1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを起こします。一般的には2～3日以内に回復します。

<感染経路>

接触感染、飛沫感染、糞口感染

<予防と対策>

- ・流水と石けんによる手洗い
- ・うがい
- ・適切な排泄物処理

咽頭結膜熱

<特徴>

アデノウイルスに感染すると発熱、扁桃腺腫脹、咽頭痛ともないます。その間、頭痛、腹痛、下痢げりのほか、首のリンパ節が腫れることがあります。加えて、目の充血、目やにが出るなどの結膜炎症状がみられることもあります。

<感染経路>

接触感染、飛沫感染

<予防と対策>

- ・流水と石けんによる手洗い
- ・うがい
- ・タオルなどの共有を避ける

